

今回は

脳卒中

のお話です。



今回は、「**脳卒中**」についてお伝えしていきます。

いきなりですが、脳卒中とは病名(疾患名)ではありません。ご存じでしたか？
脳卒中というのは、

脳血管に障害が起こる病気(脳血管障害)の総称です。



脳血管に障害が起きる病気の代表的なものに
脳血管が詰まる脳梗塞(のうこうそく)
と**脳血管が破れる脳出血**、
くも膜下出血があります。

脳血管障害の原因は何だと思いませんか？
脳血管障害とは、脳の動脈の血行不良により、酸素や栄養を受けている神経細胞が壊死することで起こるさまざまな症状とされています。
時には命さえ落とす病気のひとつです。

脳梗塞についてみてみましょう。

脳梗塞の前振れとして一時的に血管が詰まる

一過性脳虚血発作(TIA)は、24時間以内に完全に元の状態に戻るため後遺症を残すことがなく、脳梗塞とは区別されています。

しかし、TIAは脳梗塞の前触れ発作ともいわれていますので、たとえ完全に元に戻ったとしても早急に原因を明らかにして、脳梗塞への移行を阻止すべき病気と言えます。

脳血管障害の原因は何でしょうか？

主に動脈硬化から発症することが多く、動脈硬化が進行すると動脈が徐々に狭くなり、血管壁も固くなります。

これらより、内部を流れる血液の量、つまり血流量が低下します。脳への血液供給が突然大き

く障害を受けると、脳血管障害の発症に至る、というわけです。

動脈硬化の原因としては、
高血圧、肥満、糖尿病、高脂血症など、

いわゆる**生活習慣病に関連**した項目があげられます。



また、心房細動(心臓が不規則に微小に振動する症状)や、もやもや病といった病気が原因となることもあります。

違う見方をすれば、生活習慣病予防をする、生活習慣病になった場合は、今より悪化させないことが重要なポイントと言えるでしょう。

脳梗塞は以下のタイプがあります。

【 血管が詰まるタイプ 】

1)ラクナ梗塞

脳の細い血管が詰まることで起こります。日本では欧米に比べてラクナ梗塞の割合が多い傾向がみられます。

2) 心原性脳塞栓症

心房細動などの不整脈が原因で心臓の左心房でできた血栓(血の塊り)が脳の血管を詰まらせることで起こります。

3)アテローム血栓性脳梗塞

比較的太い血管が動脈硬化により詰まることで起こります。

【 血管が破れる 】

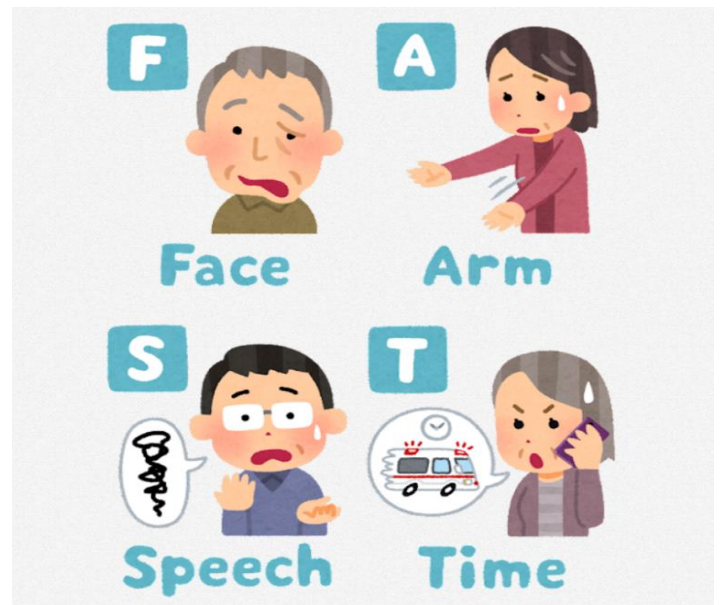
1) 脳出血

脳の血管が破れて起こります。

2) くも膜下出血

脳動脈が破裂することで起こります。男性より女性の発症率が高い病気です。

脳血管障害の時に現れやすい症状とその対処は次のように覚えておきましょう。



FASTのFはフェイス(顔)の症状

FASTのAはアーム(腕)の症状

FASTのSはスピーチ(しゃべり)の症状

FASTのTはタイム(時間)で対処。迅速に！

これからの季節では、寒暖差は特にご注意ください。

次回は

心不全

についてお話しします。

